

日大工学部新入生が テストコースを見学

大成ロテック

大成ロテックは、日本大学工学部の新入生100人を福島県田村市の「大成建設グループ次世代技術実証センター／田村」に招き、見学会を実施した。



走路を歩いて舗装の違いを体感

当日は、同施設の概要と舗装のテストコースの耐久性評価について説明したほか、自動運転システムや大型荷重車を紹介した。テストコースを実際に歩き、材料や舗装構造の違いによる機能の差を体感してもらったとともに、各種舗装の評価状況を説明した。

見学後には、舗装の社会的な役割や技術開発の重要性を学んだとの声が上がった。カーボンニュートラルに関する材料や、インフラ整備の課題についての質問も寄せられた。

同施設は、インフラの長寿命化や温室効果ガス排出削減など、社会課題の解決を目指す実証拠点となる。実路に近い環境で繰り返し載荷とモニタリングを行い、新たな舗装技術の開発と社会実装を加速させている。

